

令和6年度 学校評価報告（高等学校）

〈総評〉

保護者の皆様にご回答いただきました学校評価アンケートの回収率は66.2%でした。ご協力をいただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。

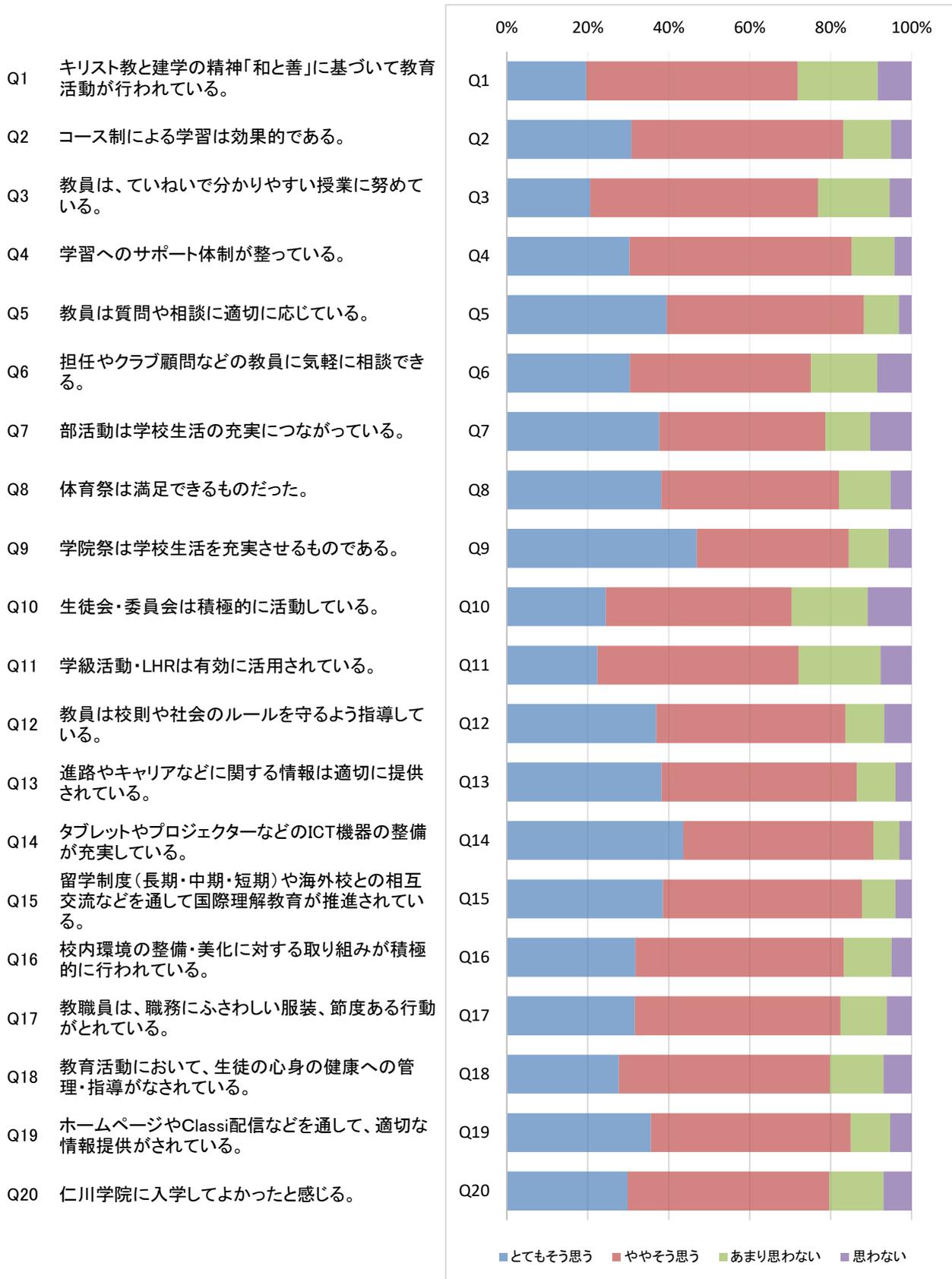
今回のアンケート結果からみえる事項につきまして、以下に記述させていただきます。

生徒による学校評価アンケートの肯定的評価（とてもそう思う・ややそう思う）の上位3項目は『Q5：教員は質問や相談に適切に応じている』、『Q14：タブレットやプロジェクターなどのICT機器の整備が充実している』、『Q15：留学制度（長期・中期・短期）や海外校との相互交流などを通して国際理解教育が推進されている』でした。これらの項目は本校が特に力を入れている点であり、生徒からも肯定的な評価が得られたことは良かったと言えます。一方で、否定的評価（あまり思わない・思わない）の上位3項目は『Q1：キリスト教と建学の精神「和と善」に基づいて教育活動が行われている』、『Q10：生徒会・委員会は積極的に活動している』、『Q11：学級活動・LHRは有効に活用されている』でした。建学の精神に基づく教育活動については、本校の宗教科を中心に「カトリック推進委員会」を立ち上げ、カトリックの精神に根差した教育活動の活性化を図っています。この項目は昨年度より肯定的評価が上昇したため、次年度も継続して活動してまいります。また、生徒会活動については、「生徒による自治活動の活性化」をめざして取り組んでいますが、まだ不十分な点が多く残っているように感じます。そして、学級活動やL.H.Rについては、以前のような「担任」の自由企画よりも、学年／コースで統一した取り組みをすることが多くなっていることが否定的評価に影響しているのかどうかを含めて、原因追及と改善に努めてまいります。

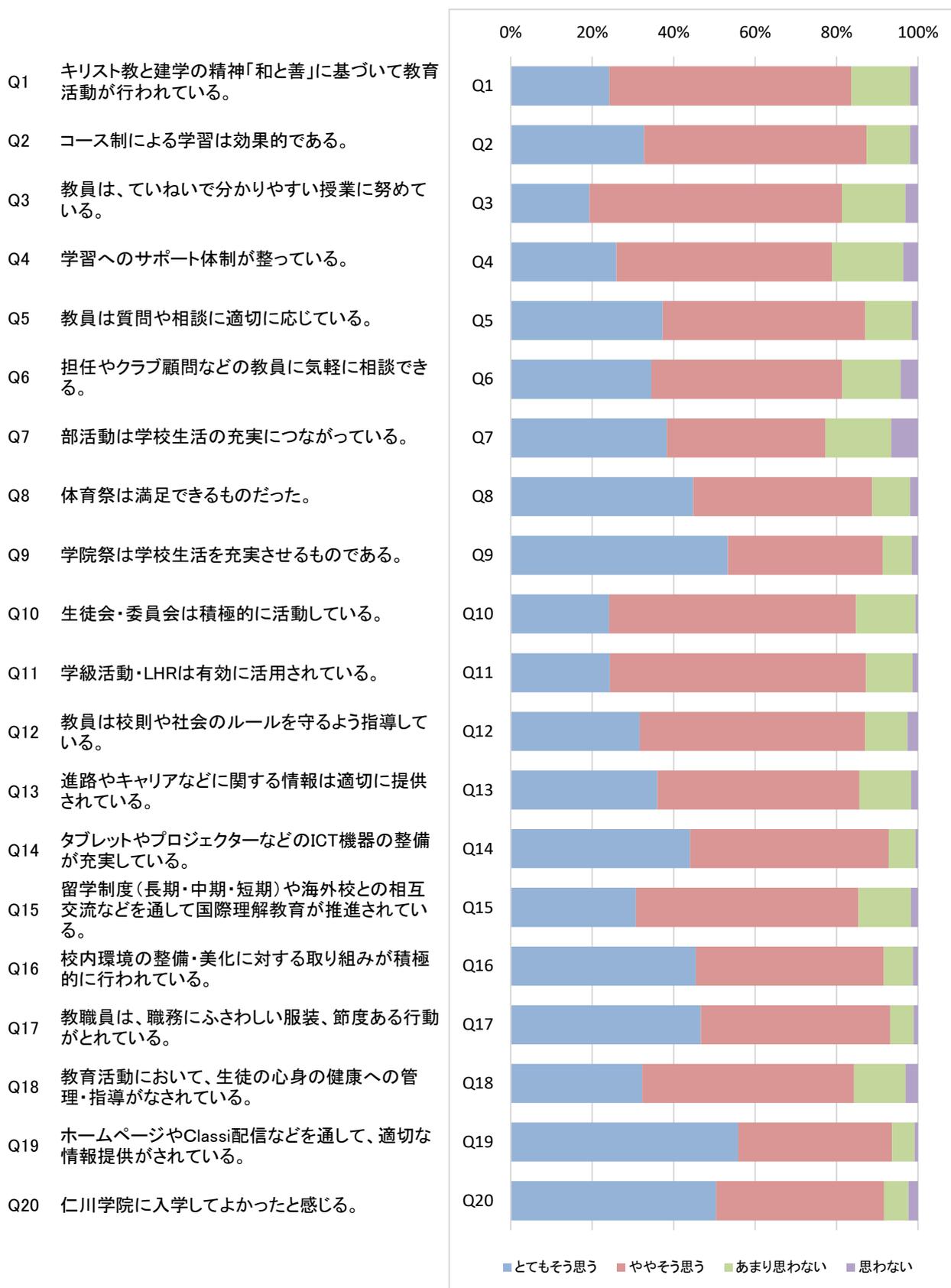
また、保護者による学校評価の肯定的評価の上位3項目は『Q14：タブレットやプロジェクターなどのICT機器の整備が充実している』、『Q17：教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動がとれている』、『Q19：ホームページやClassi配信などを通して適切な情報提供がされている』でした。これらの項目は、コロナ禍でのClassiを利用した連絡システムの浸透や、教職員の言動に対する改善努力が実を結んだ結果と言えるでしょう。一方で、否定的評価の上位3項目は『Q3：教員はていねいで分かりやすい授業に努めている』、『Q4：学習へのサポート体制が整っている』、『Q7：部活動は学校生活の充実につながっている』でした。これらの項目については、部活動のあり方や授業の質など、早急な改善が求められます。特に、授業評価については専任教員と非常勤講師の間で差が見られるため、教科内の連携強化を図り、質の高い授業実践へとつなげてまいります。

生徒の皆様にとって、より一層充実した学校生活となるように、このアンケート結果をもとに各部署で課題を共有して協議を重ね、改善すべく取り組んでまいります。これからも本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学校評価アンケート 高等学校(生徒)



学校評価アンケート 高等学校(保護者)



学校評価アンケート 高等学校(教員)

